

沖繩関連 1655 億円、0.8%減 防衛省概算要求

沖繩関連 1655 億円、0.8%減 防衛省概算要求

2013年度防衛省沖繩関係経費

(単位：百万円、%)

事項	2012年度 予算額	2013年度 概算要求額	対本年度 増減額	対本年度 伸率
(項) 防衛施設安定運用関連諸費	<15325>	<17310>	<1984>	<12.9>
1. 基地周辺対策経費	15332	16765	1434	9.4
住宅防音	5816	6256	440	7.6
周辺環境整備	<9510>	<11054>	<1544>	<16.2>
2. 補償経費等	102807	99228	▲3579	▲3.5
(1) 施設の借料	100028	96567	▲3462	▲3.5
土地等の借料	96378	96044	▲334	▲0.3
その他 (道路使用等)	3651	523	▲3127	▲85.7
(2) 漁業補償	889	866	▲23	▲2.6
(3) その他の補償等	1890	1795	▲95	▲5.0
小計	<118132>	<116537>	<▲1595>	<▲1.3>
(項) 在日米軍等駐留関連諸費	118139	115993	▲2146	▲1.8
1. 基地従業員関係	44902	45249	347	0.8
(4534)	<4534>	<4892>	<358>	<7.9>
2. 提供施設の整備	3682	4163	481	13.1
(136)	<136>	<129>	<▲7>	<▲5.0>
3. 提供施設の移設	129	136	7	5.4
(49572)	<49572>	<50270>	<698>	<1.4>
小計	48714	49549	834	1.7
(167704)	<167704>	<166807>	<▲897>	<▲0.5>
合計	166853	165542	▲1311	▲0.8

注：1 上段<>内は、契約ベースである。  
2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。

【東京】防衛省は7日、4兆6536億円(米軍再編関係費を含む)とする2013年度予算の概算要求を決定した。同省地方協力局の沖繩関連経費は12年度当初予算比0.8%減の1655億4200万円。11年度は軍用地の20年賃貸借契約の更新手数料が計上されてきたことから反動減となった。米軍嘉手納基地の管理棟の建設費用として19億5千万円を要求した。嘉手納基地と米軍普天間飛行場周辺の住宅防音は12年度比7.6%増の62億5600万円。軍用地の借地料は契約更新が完了したことを踏まえ、3.5%増の9600万円を計上した。

上した。一方、県軍用地等地主会連合会(喜屋武茂夫会長)は、13年度の米軍用地賃貸借料として総額971億円(12年度比4.2%増)を要求している。その他の施設借料は85.7%減の5億2300万円。賃貸借契約の更新手数料のほか、賃貸借契約が結ばず、駐留軍用地特措法手続きを経て強制使用する場合の補償費が大幅に減った。在日米軍駐留経費負担(思いやり予算)のうち、基地従業員給与(約9千人)は、退職金の増加が見込まれることから、12年度比0.8%増の452億4900万円。在日米軍施設内の施設整備費は13.1%増の41億6300万円となった。嘉手納飛行場と米軍トリエ通信施設の管理棟建設費などが要求額を押し上げた。提供施設の移設費は5.4%増の136万円。基地周辺対策費は、市町村から大型施設の整備要望などがあつたことから、10.4%増の105億1千万円となった。

4%増の1億3600万円、宜野湾市の市道11号整備に伴う文化調査費8600万円が盛り込まれた。基地周辺対策費は、市町村から大型施設の整備要望などがあつたことから、10.4%増の105億1千万円となった。